

地方会議（愛媛県松山市）

1. 日時、場所

平成24年4月18日（水） 14時00分～16時00分
松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 118名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	36
資金調達	0
経営指導・経営支援	9
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	3
女性層の活力発揮	4
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	7
その他	6

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・補助金を受けて思ったのは、「補助金頼り」になってしまっただめということ。ただ貰うのではなく、その後の結果をきちんと検証・評価し、自立することが大事。
- ・良い施策であれば口コミで広がっていくはず。会議の場等で成功例を展開すれば、活性化につながると思う。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・働けるのに働かない若者もいる。職業訓練として元気のある中小企業で働いてもらい、給与を支払うという制度があるとよい。現場での実務経験は大事。
- ・若者の早期離職率が高い。受け入れ時の支援や雇用環境の支援の検討を望む。
- ・社会保険料が非常に高額。中小企業が大企業と同じ負担というのは非常に厳しい。規模に応じた負担に変えて欲しい。

【取引関係（下請取引・流通構造等）】

- ・数年前まで大手の下請けをやっていて思ったのは、自分が商品の価格を決められるようにならないといけないということ。下請けからの脱却が要望。そのためには、他社との連携が重要。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・海外へ進出する際に、現地事務所の確保等、中小企業 1 社では困難。海外活動をサポートするエージェントがあればよい。
- ・タオルの本質である「織り」は中国で行っていても、日本で染色した場合の原産国表示は「日本」。メイドインジャパンを盛り立てていかなければいけないのに、残念。改善を要望する。また、海外の商標登録に対する支援も必要。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・旅行業は開業しやすい業種であるのに、法律で規定された供託金・営業保証金が高額で参入障壁になっている。法律を今の時代にそのまま適用するのではなく、若者がもっと開業しやすい環境作りを整えて欲しい。
- ・元気な若者は起業している。失敗してもやり直せる環境作りなど、新規開業しやすい仕組みを作ることが大事。

【女性層の活力発揮】

- ・企業組合制度は起業する主婦にとって有効な制度。しかし設立要件のハードルが株式会社よりも高く、何とかならないものかと感じた。起業する女性が気軽に設立できるような制度に改善を。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・商店街の活性化のためには、若い主婦を呼び込む事が重要。商店街に子育てを助ける施設がある等、子育てしやすい環境作りを用意することで、賑わいの創出と女性の問題を同時に解決できるのでは。
- ・商店街の補助金は都市部を想定した制度になっており、地方では使いにくい。商店街の活性化方策は、地域によって様々。もっと自由度のある仕組みへ、改善を望む。
- ・物販だけでは商店街が成り立たない時代。何でも良いから空き店舗を埋めようというのはなく、業種バランスをみながら、地域コミュニティを作っていかなければならない。
- ・空き店舗等に対する助成金は雇用ありきの補助金になっており、黒字化を考慮していないため自立化が出来ない。人を育てる形の助成金に変えて欲しい。